

4月2日 チリ北部沿岸の地震に先行した地震活動、及び余震活動

2014年4月2日08時46分（日本時間）にチリ北部沿岸（南緯19.8度、西経70.8度）で発生したMw8.1の地震に先行してM5～M6級の地震活動が2回発生し、本震発生後には活発な余震活動が発生した。

本震に先行した2回の地震活動（3月17日～19日及び3月22～25日）のb値はいずれも0.8程度と、通常の値の範囲内である（下表参照）。

本震後の余震活動は大森-宇津公式によく適合している。p値は1.37とやや高めである。

本資料中のMwは気象庁CMT解によるモーメントマグニチュードの値であり、その他の震源要素はUSGSによる。発震機構解は気象庁CMT解による。

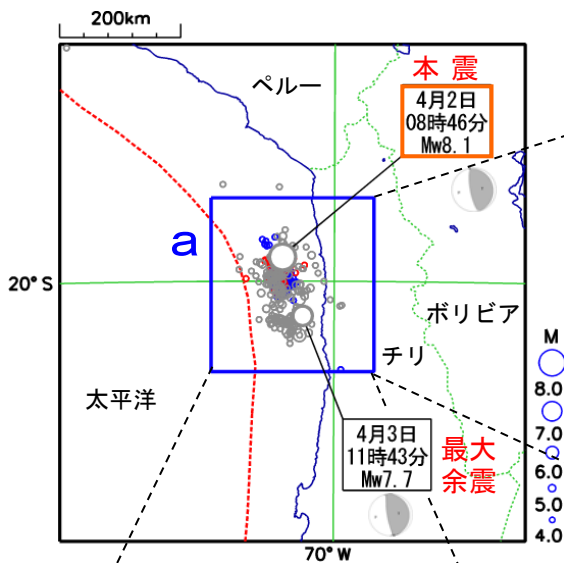
震央分布図
(2014年3月10日～4月30日24時、深さ0～60km、M4.0以上)

震央の凡例：

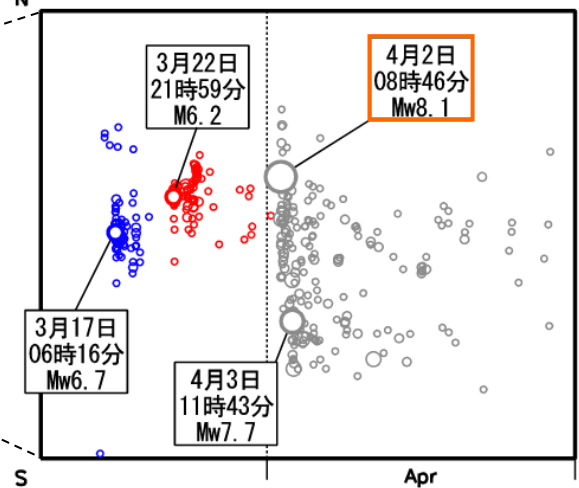
3月10日～3月21日：○

3月22日～4月1日：○

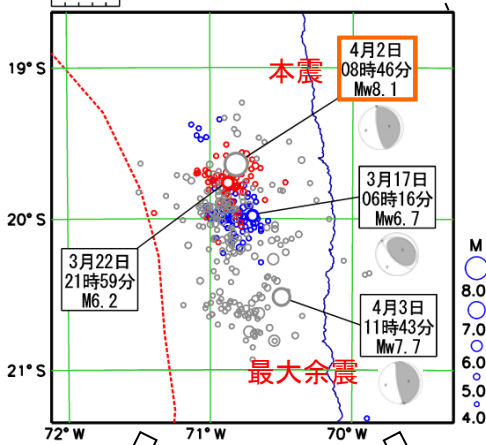
4月2日～4月30日：○



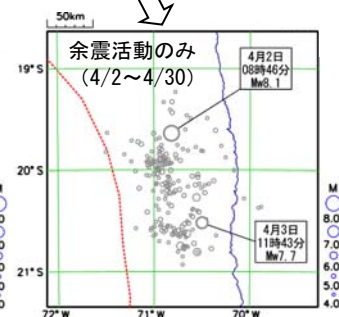
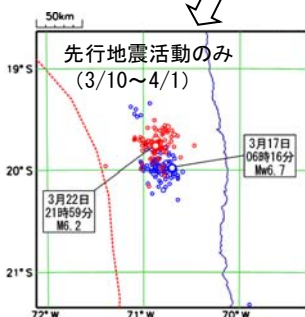
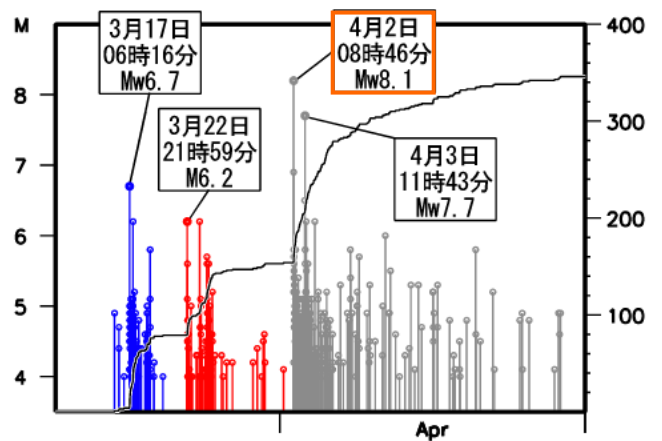
領域 a 内の時空間分布図 (南北投影)



領域 a の拡大図



領域 a 内のM-T図及び回数積算図



先行した2回の地震活動
と余震活動のb値

期間	b値
3/17～3/19	0.78
3/22～3/25	0.81
4/2～4/30	0.99

余震活動の大森-宇津
公式パラメータ

K	115.64
c	1.00
p	1.37